

# 笛吹市 議会だより

平成28年10月24日発行

2016

**Vol.48**



**笛吹市の家計簿** ④

提出案件一覧表 ②

決算に対する監査意見 ③

特別会計の決算 ⑤

代表質問・一般質問 ⑥

視察研修報告 ⑰

委員会レポート ⑱

市民リレートーク/編集後記 ⑳



**FUEFUKI CITY**

# 平成28年9月定例議会提出案件一覧表

(大久保俊雄議長を除く)  
○賛成 ●反対

種別	案件名	笛新会					誠和会			公明党		笛政クラブ		日本共産党	無党派	結果							
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	小林始	中村正彦	古屋始芳	梶原清	中川秀哉	渡辺清美		川村恵子	上野稔	前島敏彦	志村直毅	渡辺正秀	亀山和子	大久保俊雄
条例制定改正	・移住定住お試し住宅条例の制定																						
	・中小企業・小規模企業振興基本条例の制定																						
	・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・税条例の一部改正																						
	・暴力団排除条例の一部改正																						
	・市立小中学校教員住宅条例の一部改正																						
28年度補正予算	・一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	・一般会計補正予算（第3号）																						
	・国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・介護保険特別会計補正予算（第2号）																						
	・介護サービス特別会計補正予算（第1号）																						
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・農業集落排水特別会計補正予算（第1号）																						
	・簡易水道特別会計補正予算（第1号）																						
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
	・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																						
・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第1号）																							
・水道事業会計補正予算（第2号）																							
・公共下水道事業会計補正予算（第2号）																							
・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第1号）																							
27年度決算認定	・一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・介護サービス特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・公共下水道特別会計歳入歳出決算認定																						
	・農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定																						
	・簡易水道特別会計歳入歳出決算認定																						
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																						
	・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																							
・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																							
・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																							
・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定																							
・水道事業会計決算認定																							
・市営春日居地区温泉給湯事業会計決算認定																							
発議	・都市計画税条例の廃止	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	

# 平成27年度決算に対する監査意見

代表監査委員 横山祥子

6月30日から7月28日まで、監査委員3人で平成27年度一般会計・特別会計決算および水道事業会計、温泉給湯事業会計等について、審査に付された決算書および提出された審査資料に基づき、審査を執行した結果、それぞれ関係法令に準拠して作成されており、決算係数はいずれも関係帳簿、証ひょう書類と符合し、かつ正確であると認められた。また、決算の内容、予算執行についても適正妥当であると認められた。

次の事項の取り組みを望む。

- 1、行財政改革大綱の推進
  - 2、災害等に対する危機管理体制の強化
  - 3、指定管理者制度の検証  
今後の課題として検討を望む事項。
- 1、市税および料金等の収納率の向上
  - 2、随意契約、変更契約、委託業務契約
  - 3、各課の事業の見直しおよび事務処理の適正化

介護保険料上昇防止のため積極的な取り組みを望む。

## 〔後期高齢者医療特別会計〕

保険料は制度を支える重要な財源となるので、滞納縮減に向けた努力を望む。

## 〔財産に関する調査〕

財産区の管理体制は、構成員の高齢化が進み管理が難しい状況。後継者選び等の検討課題もあるが貴重な資源の保護、育成を推進すること。土地開発基金の運用状況は、規程に基づき適正な管理が行われている。

## 〔公共下水道特別会計〕

歳入の一般会計からの繰入金、歳入の公債費が財政運営に影響している。下水道受益者負担金および使用料は、重要な下水道事業財源のため、収入未済額の縮減対策の強化を望む。28年度から地方公営企業会計制度に移行するため、効率的な整備推進を図りたい。

## 〔水道事業会計〕

供給単価の見直し等経営改善に向けた手立てを進め、未収金は規定に基づいた給水停止の措置、戸別徴収の強化などを行い、特に高額滞納者には断固たる姿勢を示して減少に向けた取り組みをお願いする。厳しい経営状況であるため、実質的な収益向上と安定経営に向け、事業を遂行されるよう望む。

## 〔一般会計〕

これからの市政運営は、少子高齢化が進み、財政に占める社会保障費の割合の増加、公共施設の老朽化による改築・修繕など義務的経費の増加、また、福祉、教育、環境問題などの経費が見込まれ、臨時財政対策債、合併特例債の打ち切りや、社会経済状況の閉塞による各種収納率の低下等が懸念され、厳しい財政運営になることが予想される。事業の樹立・執行は、市民の目線に立ち、施策の必要性、優先順位を厳しく選択し、限られた財源を効率よく効果的に配分を行い、行財政を推進するよう強く求める。

## 〔国民健康保険特別会計〕

滞納世帯に対し明確な基準を設け、厳正な対応と収入未済額縮減のため、一層の徴収強化を望む。

## 〔介護保険特別会計〕

円滑な保険事業運営のため、収納率向上・不納欠損額の縮減に努められたい。

## 〔介護サービス特別会計〕

要支援者が要介護者とならないため、成果の検証等を行い、結果を反映したサービスの提供が重要である。

## 〔農業集落排水特別会計〕

排水処理施設等の維持管理、起債の償還が歳出の主なもの、未収金も公平性の面から収納対策を望む。

## 〔春日居地区温泉給湯事業会計〕

最少経費で最大効果を上げるよう、公営企業として将来を見据えた事業経営を遂行されるよう望む。特に高額滞納者や権利放棄者、権利者の中で使用していない者に対しては、公平性の面から未収金解消のための取り組みをお願いする。

## 〔簡易水道特別会計〕

老朽管の布設替等を積極的に行い、有収率向上と給水原価に比する供給単価の見直しが必要である。

平成  
27  
年度

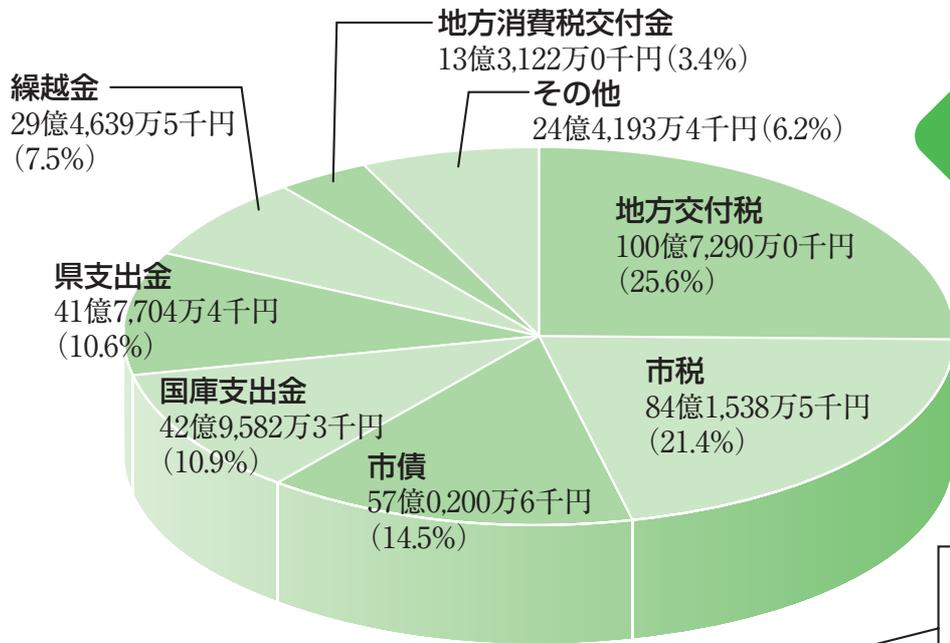
# 笛吹市の家計簿

## 一般会計決算

**歳入** 393億8,270万7千円

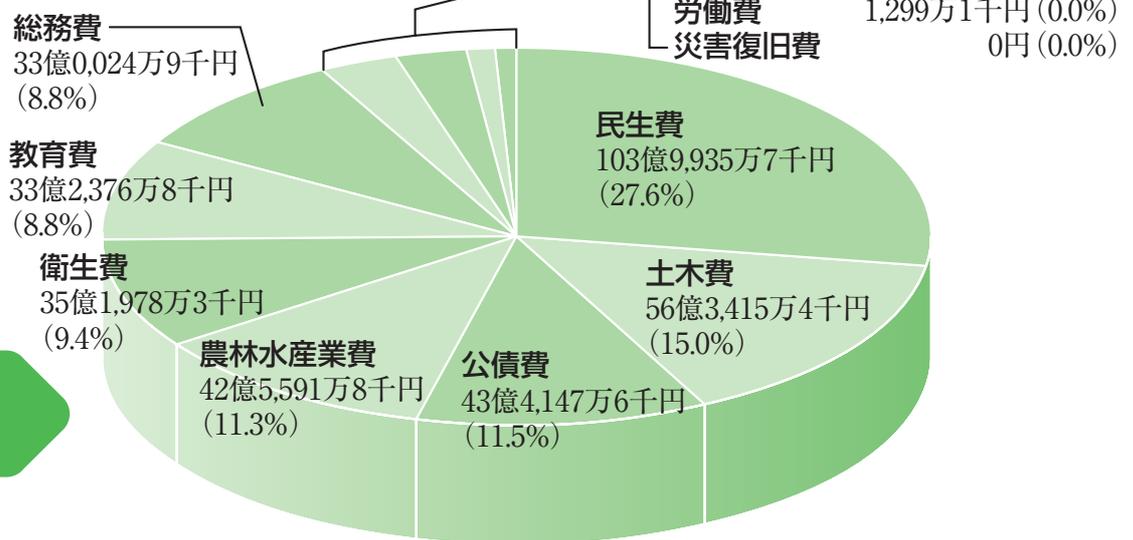
**差引** 17億2,736万1千円

**歳出** 376億5,534万6千円



**歳入**

※構成比は端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。



**歳出**

### 市民1人あたりこのように使われました(人口:70,599人)

● 民生費	1人あたり 147,302円	● 諸支出金	1人あたり 15,936円
● 土木費	1人あたり 79,805円	● 消防費	1人あたり 14,742円
● 公債費	1人あたり 61,495円	● 商工費	1人あたり 6,547円
● 農林水産業費	1人あたり 60,283円	● 議会費	1人あたり 3,393円
● 衛生費	1人あたり 49,856円	● 労働費	1人あたり 184円
● 教育費	1人あたり 47,080円	● 災害復旧費	1人あたり 0円
● 総務費	1人あたり 46,746円		

人口:平成28年4月1日現在(住民基本台帳人口統計表より)

# 平成27年度 特別会計の決算

注)構成比は端数処理の関係で100%にならない場合があります。(単位:千円)

## 国民健康保険特別会計

歳入				歳出			
	共同事業交付金	22億9,934万5	21.4%		保険給付費	62億2,716万2	59.0%
	国民健康保険税	22億9,139万5	21.4%		共同事業拠出金	23億0,662万9	21.9%
	国庫支出金	22億3,278万7	20.8%		後期高齢者支援金等	11億6,958万5	11.1%
	前期高齢者交付金	21億6,421万9	20.2%		介護納付金	4億9,688万7	4.7%
	その他	17億4,077万2	16.2%		その他	3億5,272万4	3.3%
	合計	107億2,851万8	100.0%		合計	105億5,298万7	100.0%

## 介護保険特別会計

歳入				歳出			
	支払基金交付金	16億1,221万9	26.7%		保険給付費	56億2,453万0	94.1%
	国庫支出金	14億1,032万6	23.4%		総務費	1億3,704万4	2.3%
	介護保険料	12億2,515万0	20.3%		地域支援事業費	1億1,333万1	1.9%
	繰入金	9億1,441万0	15.1%		その他	9,918万5	1.7%
	県支出金	8億4,133万1	13.9%				
	その他	3,578万6	0.6%				
	合計	60億3,922万2	100.0%		合計	59億7,409万0	100.0%

## 介護サービス特別会計

歳入				歳出			
	サービス収入	1,968万9	95.7%		事業費	1,427万3	100.0%
	繰越金	88万7	4.3%		総務費	0	0.0%
	合計	2,057万6	100.0%		合計	1,427万3	100.0%

## 後期高齢者医療特別会計

歳入				歳出			
	繰入金	8億4,098万7	64.9%		後期高齢者医療広域連合納付金	12億7,449万9	98.5%
	後期高齢者医療保険料	4億5,193万3	34.8%		総務費	1,885万9	1.5%
	その他	273万5	0.2%		その他	114万5	0.1%
	合計	12億9,565万5	100.0%		合計	12億9,450万3	100.0%

## 公共下水道特別会計

歳入				歳出			
	繰入金	17億4,829万0	62.2%		公債費	17億2,955万7	63.8%
	使用料及び手数料	5億5,352万5	19.7%		下水道事業費	8億0,512万2	29.7%
	市債	2億2,000万0	7.8%		総務費	1億7,425万3	6.4%
	国庫支出金	8,620万8	3.1%				
	その他	2億0,361万6	7.2%				
	合計	28億1,163万9	100.0%		合計	27億0,893万2	100.0%

## 農業集落排水特別会計

歳入				歳出			
	繰入金	2,905万8	60.3%		公債費	2,973万9	68.6%
	使用料及び手数料	813万7	16.9%		農業集落排水事業費	1,348万8	31.1%
	その他	1,097万6	22.8%		総務費	15万5	0.4%
	合計	4,817万1	100.0%		合計	4,338万2	100.0%

## 簡易水道特別会計

歳入				歳出			
	繰入金	977万1	55.8%		水道費	717万7	61.8%
	繰越金	449万2	25.7%		公債費	422万4	36.4%
	使用料及び手数料	324万1	18.5%		総務費	21万1	1.8%
	その他	0	0.0%				
	合計	1,750万4	100.0%		合計	1,161万2	100.0%

## 黒駒山外8財産区管理会特別会計

歳入		歳出	
	5,151万7		390万6

## 水道事業会計

収入				支出			
	収益的収入	16億8,525万0	67.2%		収益的支出	16億6,201万4	56.5%
	資本的収入	8億2,202万0	32.8%		資本的支出	12億8,167万1	43.5%
	合計	25億0,727万0	100.0%		合計	29億4,368万5	100.0%

※不足額は補てん財源で措置

## 春日居地区温泉給湯事業会計

収入				支出			
	収益的収入	6,980万4	100%		収益的支出	6,639万7	86.9%
	資本的収入	0	0.0%		資本的支出	996万6	13.1%
	合計	6,980万4	100.0%		合計	7,636万3	100.0%

※不足額は補てん財源で措置

- 笛新会 海野利比古議員 …6
- 誠和会 小林 始議員 …7
- 公明党 中川 秀哉議員 …9
- 笛政クラブ 志村 直毅議員 …10
- 日本共産党 渡辺 正秀議員 …12

9月  
定例議会

市民の声

# 代表質問

9月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が代表質問に立ち、18項目について市当局の考えをたどりました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。



笛新会

海野利比古 議員

## 問 市政4年間と再選立候補は

海野利比古議員 ①どのよう

な思いで再選立候補の表明をしたのか。

②就任時にどのような市政のランドデザインを描き、事業の取り組みをしてきたのか。4年間の実績と反省点は。

③公約は実現できたのか。また自らの市政の評価は。

④笛新会からの政策提言は。

⑤NTT用地の活用は。

⑥都市計画税に対する考えは。

⑦支所の位置づけは。

⑧2期目を目指す政治理念、政治方針は。

答

経験を生かし  
続投したい

倉嶋清次市長 ①市政運営を任せられた4年間を振り

返り、あらためて本市の良

さや課題が見えてきた。4年間の経験を生かし、引き続き

全力を傾けたいと考えている。

②多機能アリーナ、バイオ

マスをかけ、50億円の建設費

と後年度負担を削減し、財政

健全化に貢献した。

地域振興助成の幅広い活用

とともに、ボランティアセ

ンターの設置や合併10周年

を期して「市民祭り」を創

設した。

重度心身障がい児の医療窓口無料化に取り組み、障害者支援の総合的窓口としての基幹相談支援センターを設置、ICT技術を活用した介護支援を推進。

「教育大綱」を取りまとめ、東京オリンピック・パラリンピックのホームタウン化に取り組んでいる。

JAと協力し国内外へのトップセールスを強化、東南アジア諸国への観光客誘致推進、「リニアの見える丘」整備、駅前通りと近津用水のイルミネーション設置、「プレミアム付き商品券」の発行、「ミズベリン

グ構想」に基づくまちづくりなど多くの面で成果を上げたと考えている。

反省点としては議会・市民との対話や市民への説明に丁寧さを欠く部分があった。

③前市政が進めようとした5つの大型事業の必要性を吟味し、進捗度合いを踏まえた財政負担を検討し、適切な判断を行ったと自己評価している。

④(1)ご提案のドーム型の運動施設は、スポーツツーリ

ズムの拠点として期待される。活用例の一つとして受けとめている。

(2)1年間の課税猶予になった経過を踏まえ、庁内検討を重ねている。都市計画マスタープランの基本方針や目標とするまちづくり像を再確認し、課税対象区域や都市計画事業を検証、財政

状況を踏まえ検討している。

(3)支所の今後は、限られた職員数のなか一定の窓口業務、行政区などの地域サポート機能、高齢者・交通弱者の支援など、「地域の相談センター」が進むべき方向と考えている。

⑤市民本位の市政を徹底する。市民参加の組織に取り組む。生活弱者支援、子育て支援、障害者支援、防災

対策の強化、「手話言語条例」制定などを進め、暮らしやすいまちを実現する。

「日本一桃源郷」をさらに磨き上げるため、農業の担い手対策強化、農業と観光との連携を図り、基幹産業を飛躍させる。「俳句の

里」づくり、「芝生のサッカー場」建設にも取り組む。



## 「エコフォレスト さかいがわ」は

**海野議員** ①新ごみ処理施設建設の進捗状況は。  
②稼働後の環境への影響は。観光交流センターの経済効果は。

## 29年4月の稼働を目指す

③ごみ処理費の削減は。

**倉嶋市長** ①甲府・峡東地域ごみ処理施設建設は現在95%の進捗率。11月から試運転の予定。一般廃棄物最終処分場は、防災調整池、浸出水調整池の構造物建設が順調に進み、20%の進捗率。観光交流センターは造成が完了し、7月21日に起工式を行った。緑地エリアも29年4月オープンを目指している。

②環境影響アセスメントを行っており、稼働後生活環境に支障を来たすことはないと確信している。観光交流センターを拠点として、年間3万人から5万人の集客を見込んでいる。  
③現在、甲府・東山梨の処

理場への委託で、年間4億円の処理費が支出されている。新ごみ処理場は、20年間のDBO方式による運営と高効率ごみ発電の売電、市全域の処理により管理費の低減と平準化が図られ、年間2億円の削減を見込む。DBO方式とは（公共が資金調達を負担し、設計・建設、運営を民間に委託する方式のこと）

## 地域包括支援センターは

**海野議員** 高齢者人口は団塊の世代が75歳以上となる平成37年に3、657万人に達し、54年にピークを迎えると推計される。

①一人暮らしの高齢者や認知症高齢者の現状は。  
②要介護認定者と介護給付の状況は。給付抑制の対策は。  
③地域包括支援センターの拡充計画は。

## 2カ所の増設を検討

**倉嶋市長** ①28年4月現在、高齢者人口は19、612

人。高齢化率27・8%。在宅一人暮らしは男性1、378人、女性2、727人、計4、105人で高齢者の20・9%。75歳以上の一人暮らしが2、235人で、介護・医療だけでなく、安全安心な生活への支援のあり方が求められている。

認知症高齢者は男性641人、女性1、638人、計2、279人で、高齢者の11・6%。75歳以上が2、057人、90・26%。在宅が1、641人、施設入所が638人、在宅率は72%。

②27年度末の介護認定者は3、132人。高齢者の16・1%。介護給付費は56億2千万円で毎年増加している。内訳は、居宅サービス給付費が27億7千万円で全体の49・3%、施設サービスが16億1千万円、地域密着型サービスが6億6千万円。受給者一人当たりの月額額は、施設サービスが24万7千円で最も高く、地域密着型が22万6千円、居宅が14万円。

給付費抑制には、介護予防事業が重要なため、介護予防

プラン作成支援やサービス提供体制整備に取り組んでいる。

③総合相談支援業務は、地域のニーズを把握し、介護事業者や民生委員、警察などの関係機関と連携し、医療機関の紹介、介護保険申請等、適切なサービスの利用につながる支援を行っている。

権利擁護業務は、虐待への対応、成年後見制度の活用促進等を行っている。

包括的・継続的ケアマネジメント業務は、介護支援専門員や医療機関、介護事

業者等から要介護高齢者への支援依頼、虐待や権利擁護および介護サービス計画作成等に関する相談を受け支援している。

介護予防ケアマネジメント業務は、要介護状態への進行を予防するため各種の支援を実施している。

以上の4業務を行なう地域包括支援センターを第6期介護保険事業計画で、「30年度までに3カ所に増設する」よう検討している。増設する2カ所は、医療法人や社会福祉法人等に運営委託する計画。



## 誠和会

小林 始 議員

## 地方版総合戦略策定は

**小林始議員** ①大型施設整備事業の4年を経ての検証結果は。

②石和・春日居温泉の温泉街づくりは。  
③地域活性化総合特区の実現は。  
④若者をはじめとする農業

## 代表質問



- の担い手育成、通年型農業の実現と6次産業化施策は。
- ⑤ 4年間の公債費の推移は。
- ⑥ 市役所機能の見直しは。
- ⑦ 公正・公平・透明性の高い市政の推進は。
- ⑧ 住んでみたくなるまち笛吹づくりの推進は。
- ⑨ 八千歳・高家地区は。
- ⑩ 行政経営システムは。

**答**  
**成果は出したが道半ば**

**倉嶋市長** ①「石和温泉駅周辺整備」は、市の玄関口として、観光振興と身体障がい者に配慮した施設の必要性に鑑み推進し、本年2月に竣工した。

「砂原橋架け替え」は、橋を含め市道13号線として用地買収と並行し工事を進めている。事業中の笛吹・八代スマートインターチェンジや、新山梨環状道路東油川ランプの計画と連携する重要な事業。31年度末までに完成させたい。

「八代ふるさと公園拡張整備」は、就任時に第6次整備事業の3年目。早期に完成させるべきと判断、26

年度に完成。27年度にはリニアの見える展望台を設置し、市の新たな観光名所になった。

「大坪浸水対策」は、浸水現況調査、詳細設計を経て、第3期浸水対策工事として、調整池の掘削と排水ポンプの整備を進めており、29年度完成の計画。

② 25年4月10日、日本一桃源郷を宣言し、桃源郷の日を制定した。市のイメージアップに成果があったと考えている。駅前線や近津用水のイルミネーション設置で賑わい創出を図った。ミズベリング構想でも近津用水の活用事業を盛り込んでいる。

トップセールスの実施、国際観光戦略監の設置、海外メディアの招致等で、外国人観光客の誘致に努めた。宿泊客数は、25年度93万人、26年度103万人、27年度154万人と大幅に増加している。外国人宿泊客も25年度5万人、26年度10万人、27年度17万人と着実に増えている。

大蔵経寺山・兜山を駆け

るトレイルラン大会、本市と富士河口湖を周遊するサイクリングイベントなどスポーツを活用した観光にも積極的に取り組んだ。

③ 国は当面特区指定しないため実現していないが、歴史的文化財の活用策としてモデルコースを選定し温泉旅館組合の協力を得て、効率的な周遊観光に努めている。

④ 25年度、御坂町に赤ワイン生産用の発酵タンク一式を整備。26年度、八代農産物直売所に加工施設を併設、売り上げ・利用者数ともに3年後の目標数値を初年度で達成した。

26年度から「農業用機械等購入補助金制度」を新設した。過去3年間半の新規就農者は100人を数えた。近隣の山梨市・甲州市に比べ3割以上高い実績を誇っている。

⑤ 一般会計の市債残高は、4年前の23年度が377億3千4百万円、27年度が439億1千6百万円と61億8千2百万円増加した。特別会計・企業会計を含む残高は、23年度674億2

千9百万円、27年度が702億9千9百万円と28億7千万円増加した。

⑥ 文書による報告、課題を深める仕事のスタイル奨励、前例踏襲からの脱却、外注の抑制、幹部職員による経営会議運営、予算編成の進め方改革に努めた。

⑦ 市民一人ひとりの声を市政に反映させることが政治信条。情報公開においても市民ミーティング、広報紙などを通じ、わかりやすい情報発信に努め、市民との協働を基本理念として、市政運営に心がけてきた。

⑧ 本年度、防災危機管理課を新設するなど災害に強いまちづくりを進めてきた。昨年策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策実現はまだ道半ば、さらなる施策推進を図って行きたい。

⑨ 4市の調整は難しく、共通した土地利用策は万策が尽きた状況。今後は、施設建設だけでなく、地域や土地所有者が利用しやすい環境整備も視野に入れ検討したい。

**問**  
**27年度決算状況と重要施策は**

**小林議員** ① 重点27事業の検証結果は。

- ② 見直しや改善を行った事業と成果は。
- ③ 最高額となった決算の特徴は。
- ④ 今後の財政運営における方針は。
- ⑤ 財政力指数と経常収支比率の改善は。

**答**  
**計画どおり執行**

**倉嶋市長** ① 一般会計のうち1事業が繰越しとなっているが計画どおり執行されている。

② 方針変更は特にないが、各事業の進捗状況に合わせて財源の更正に努めてきた。

③ 歳入は前年比10億2千9百万円増、歳出は22億4千



8百万円の増となり、合併以来最高額の決算。主な要因は、大型事業がピークを越え普通建設事業が13億4千7百万円減少したものの、記録的大雪被害による対策補助金21億5千7百万円、甲府峡東地域ごみ処理施設事務組合への負担金も11億9千1百万円増となり補助費が31億8千8百万円に膨らんだこと。

④ 特定財源を積極的に獲得するとともに、「選択と集中」を繰り返し、事業の精査を行い、適正な予算規模を保持していく。  
⑤ 27年度の財政力指数は0.56、前年度より0.01下回った。税収増に努める。経常収支比率は89%、昨年度より0.6ポイント上昇し財政が硬直した。経常経費の見直し、借入の抑制などに努める。

## 問 観光振興施策は

小林議員

① 観光振興、ビジョンの見直しは。

② 観光振興アクションプランの継続は。

③ 観光振興アクションプラン実施計画は。

④ 事業の検証は。

⑤ 観光振興施策の決算結果は。

## 答 積極的に事業を実施した

倉嶋市長

①②③今年度、新たに第2次観光振興計画を策定する。ビジョンとアクションプランを兼ね備えた実効性のあるものとして

④ 事業着手率は毎年100%だった。アクションプラン推進会議が事業を総括するとともに検証がなされ、次期計画策定に向け、地域資源の活用、インバウンド観光の推進、ユニバーサルデザイン、情報発信の強化、季節ごとのターゲットづくりなど5つの項目について答申があった。新たな計画に反映させていく。

⑤ 国の交付金を活用し、様々な媒体を活用した情報発信、各種イベントの実施、近津川イルミネーション、水辺活性化事業を実施。リニアの見える丘整備等国や県の予算を活用し、効果的に観光施策に取り組んだ。



公明党

中川 秀哉 議員

## 問 27年度決算と重点施策は

中川秀哉議員

① 財政健全化法に基づく4指標の評価と分析は。

② 自主財源確保の取り組みと税金・料金の収納状況は。

③ 合併特例債の起債状況と今後の活用方針は。

④ 各種基金の状況と今後の重点政策は。

⑤ 行政区からの地域要望に対する進捗状況は。

⑥ 人口減少に伴う子育て支援は。

⑦ 高齢化の進展に伴う社会保障事業は。

⑧ 石和地区の下水道整備事業の進捗は。

⑨ 市長が取り組んだ重要施策に関する、国・県との連携や要望活動は。

## 答 財政健全化、収納率向上に努める

倉嶋市長

① 「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」は、一般会計・特別会計と企業会計が今年度もすべて黒字だったため、算出されない。

「実質公債費比率」は、0.4ポイント減少し、13.4%。元利償還金は増加しているが、基準財政需要額の公債費算入総額がそれ以上に増加したことが主な要因。

「将来負担比率」は、市債借入額の増加に比例して基準財政需要額の公債費算入見込額も増加傾向にある。財政調整基金の積み立てにより、充当可能基金残高が

大きく上昇し、3.9ポイント減少して77.6%となった。本市の健全化4指標は、いずれも健全の基準範囲内を維持している。

今後「実質公債費比率」は、公債費は合併特例債発行可能期間までは横ばいの状況だが、31年度以降減少していくものと推計している。「将来負担比率」は、一般会計、特別会計の起債残高の減少をはじめ、充当可能基金が29年度以降31年度まで増額となるので、減少していくと推計となっている。

② 収納状況は全般的に見て、前年度より向上した項目が多い。市税は86.5%で0.4ポイントの向上。国民健康保険料は76.7%で3.4ポイントの向上。水道使用料は87.4%で1.3ポイントの向上。下水道使用料は89.1%で2.5ポイントの向上。保育料、住宅使用料、介護保険料の収納率も昨年度より向上している。市では他の自治体と比べ、税・料金の収納率が低いことから、合併以来、徴収強

化に努めてきた。現在、合併特例期間の終了による地方交付税の減少が続いており、自主財源の確保対策は財政運営において重要な課題。今後とも、徴収業務は市長を中心に全庁体制で取り組みを強化していく。

③ 27年度末の借入状況は、271億4千3百万円。残りの発行可能額は115億8千6百万円。28年度の当初分と27年度からの繰越分を差し引くと、29年度以降は80億3千8百万円。

今後の活用方針は、合併特例債は31年度までが発行可能期間なので、市の基盤整備はもとより、限られた期間のなかで有効活用していきたい。

④ 27年度末の基金残高は、土地開発基金、北野福祉基金を除くと163億1千8百万円。27年度中の取り崩し額が1億3千3百万円に対し、積立額が11億2千5百万円。各基金の残高は、財政調整基金が9億8千3百万円を積み立てし38億9千2百万円、減債基金は17億8千9百万円、公共施設整備等基金35億5千8百万円、地域振興基金48億8千万円、その他特目基金として21億9千9百万円となる。

今後は、取り崩しを最小限に抑え、基金の使途に際して充当することを前提に考えていく。まちづくり基金は、寄付者の意向に沿った事業に充当し、今後の財源不足と重点施策に対応できるように充当する方針。

⑤ 毎年10月に出される各行政区からの要望には、優先順位をつけ、翌年度に予算化を図っている。27年度の対応状況は、要望事項の約半分の328件、5億円余りの事業費となっている。道路・水路の整備、消火栓や防犯灯の設置などを実施している。今後も、できる限り地域の要望に応えられるよう努める。

⑥ 子育て支援の重点対策は、「笛吹市子ども・子育て支援事業計画」に掲げる3本の基本方針の実現に向けた各種施策を推進した。

「幼児期の教育・保育体制の充実」として、土曜日1日保育の実施に向け、2月から公立保育所で試行し、4月から私立保育園も含め全保育施設で実施している。「地域における子育て支援サービスの充実」として、子育て支援センターを1カ所増設した。市内7カ所のセンターで子育て中の親子

が交流する場所の提供を行い、育児の悩み相談、情報交換が可能な施設として年々利用者が増加している。専門の研修を受けたボランティアが、未就学児の家庭を訪問し、家事や育児を手伝う「ホームスタート事業」も開始した。

就労中の保護者支援として、病気やケガのために登園、登校できない子どもを医療機関内の専門施設で保育する「病児・病後児保育事業」を実施し、延べ435人の利用があった。

「放課後児童の居場所づくりの推進」として、放課後児童健全育成事業では、26カ所の学童保育クラブで対象児童を小学校6年生まで拡大し、放課後留守家庭の児童を預かり、学童支援員のもとで遊びや学習など生活の場を提供している。

総合戦略の柱のひとつ、「結婚・妊娠・子育てまで継続的な支援」の具体策として、スマートフォンなどを活用して子育て情報を配信する「子育て情報クラウド化事業」の取り組みを開始した。

⑦ 27年度、高齢になっても住みなれた地域で暮らし続けられるための仕組みづく

りとして、「在宅医療・介護連携」「認知症施策の推進」「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」に取り組んだ。今後も、団塊世代が75歳以上となる37年度に向け、市民が介護予防の取り組みに参画できるように努める。

⑧ 昭和54年度から着手し、平成27年度は小石和、下平井、松本地区に事業実施、年度末で476・9人が使用可能となり進捗率は71・5%。今年度は四日市場、下平井、小石和地区で事業実施する。

⑨ 主要施策の実現、諸課題



笛吹クラブ

志村 直毅 議員

問 27年度決算と財政運営は

志村直毅議員 ① 決算の評価と今後の財政運営の考え方は。

- ② 財政指標の分析は。
- ③ 事業費の増額や見込を上回る歳出を行った事業は。
- ④ 都市計画税の課税再開に向けての市の対応は。

答 歳入・歳出とも 合併以来最高額

倉嶋市長 ① 27年度一般会計決算は、歳入・歳出とも合併以来最高額となった。形式収支となる歳入歳出差引額は17億2千7百万円で、

解決のため、国・県の施策や予算について、地方創生交付金、リニア中央新幹線整備促進、医療費助成の公費負担、青年就農給付金、新山梨環状道路、地方道整備、特別支援教育にかかる要望事項を取りまとめ、県市長会と一体となって要望活動を行っている。

地元選出の国会議員等の協力を得て関係省庁に対して、西関東連絡道路整備、上黒駒砂防堰堤、雪害補助、世界農業遺産への登録、桃サミット開催などに向け強く要望した。

2億1千5百万円は次年度へ繰越すため、実質収支は15億1千2百万円となり6年連続10億円を超えた。前年度からの繰越を控除する単年度収支は2億3千7百万円減少し、3年ぶりの赤字となったが、財政調整基金の積み立てや取り崩し、市債の繰上げ償還を考慮する実質単年度収支は7億4千6百万円となり、黒字化した。

地方交付税の段階的な縮減に対応し、行財政改革を一層推進し、事業の「選択と集中」に取り組む。

②「実質公債費比率」は13・4%で、26年度より0・4ポイント減少した。「将来負担比率」は3・9ポイント減少して、77・6%となった。黒字決算のため、二つの赤字比率は算出されない。本市の健全化4指標は健全の基準範囲内を維持している。

③一般会計において最終的に156事業が当初予算より増額となった。

④7年間の課税猶予中は一般財源を充当してきた。都

市計画税の仕組みや用途について、市民の理解が得られるよう努める。

### 問 ミズベリング事業は

志村議員 ①水辺の楽校、水辺カフェ等の取り組みは。

②N T T用地の具体的な利活用策、市民と検討を進める環境がなければ理解得るのは難しいが方針は。

③都市計画道路の見直し変更、廃止等の検討は。

### 答 合意を得て推進

倉嶋市長 ①水辺の楽校は、小学生と保護者80人が参加し、川遊びと川の危険性について学んだ。水辺カフェは昨日から営業を開始し、今後、アンケート調査等を行い、継続性について評価・検証する。

②市民等へのアンケート調査、議員からの提案、公募の市民等による検討会議の結果を踏まえ作成した活用例5案を検討資料としながら、笛吹市の活性化に寄与する活用策をしっかりと検討

し、十分な説明を尽くし市民の理解を得て取り組んでいく。

③45年以上未整備の路線もあり、硬直した事業となっている。見直しについては、国の難しい条件や制限があり、厳しい状況にある。

### 問 入札事務は

志村議員 ①百条委員会からの改善提言を受け、これまでの市の対応は。

②設置される入札監視委員会の内容・役割は。

③今後、入札事務の改善に必要なことは。

④公共事業の「地産地消」、随意契約の取り扱い、昨年度的一般競争入札と随意契約の件数、見積り合わせ、一業者見積りの状況は。

### 答 公正、適切に執行

倉嶋市長 ①27年4月30日付けで回答。その後も、各項目において検討・改善に努めている。今年度中に入札監視委員会を設置する予定。

②予定価格が130万円以上の工事や50万を超える委託など、入札対象案件の運用状況等について、一般競争入札参加資格の設定と随意契約の理由等を審議する。入札等に関し、市の措置に苦情が申し立てられた場合、市長の諮問に応じて審議・調査し意見具申する。委員会は2年任期の5名以内で構成する。

③公正性・透明性・競争性を基本原則とする。事後公表による一般競争入札を採用しているが、県内では、事前公表や指名競争を実施している事例も多い。参考にしてより適切な入札事務の執行に務める。

④市内業者の優先など、ガイドラインに基づき執行している。27年度は入札291件、随意契約310件。2社以上による見積り合わせが73件、特命随意契約237件。

### 問 高齢者等の見守りは

志村議員 ①ふれあいペンドラントの利用者数は。

②高齢者の見守り方法は。

③他市町村と比較し、本市の見守り体制は。

### 答 市民の協働で推進

倉嶋市長 ①7月末現在、237人。

②ふれあいペンドラントや配食サービス、民間事業者との見守り協定等を実施している。「笛吹市安心安全見守り連絡協議会」の設置を準備している。

③市民レベルの活動も活発で、笛吹市の評価は高い。

### 問 障害児者福祉は

志村議員 ①障害児者福祉啓発、「障害者週間」の取り組みは。

②障害児者福祉サービスのパンフレットは。

③医療的ケアを要する障害児への支援は。

④学校・保育施設における障害児の支援、連携は。

⑤石和温泉駅北口トイレで車いす生活者の利用に、支障が生じている状況への対応は。



# 代表質問

## 答 啓発に努める

倉嶋市長

①障害者週間には目的や趣旨を、通年では障がい福祉情報や活動紹介を広報紙やホームページに掲載し、障がい福祉について周知啓発に努めている。

②今年度、市独自のパンフを作成し活用している。

③数名の障がい児に対し、訪問支援等を実施している。

④学校サポーター15人を配置し、保育士の加配、情報連携等に努めている。

⑤北口のトイレは、手動車いす利用者のみ使用可。電動車いす利用者のために、南口トイレへの誘導サインを設置した。

## 問 産業振興の取り組みは

志村議員

①笛吹市地産地消推進計画の期間終了後の継続的な取り組みは。

②前進した観光施策は。

③観光施設整備基金の活用方針は。

④工場誘致奨励金、企業立地促進事業助成金の活用状況

況は。

⑤産業振興のための補助金、助成金は。

## 答 東京五輪を視野に入れ施策展開

倉嶋市長

①26年度の計画期間終了後も、継続・推進している。指定管理4店舗の農産物直売所は、25年度の利用者26万4千人、売上3億6千5百万円が、27年度には27万4千人、4億1千470万円に増えている。

②「日本一桃源郷」宣言、「ミズベリング構想」、インバウンド観光施策、リニアの展望台設置、石和温泉駅の観光案内所へのワインサーバーの設置等が成果を上げている。

③財政状況にも鑑み適切に活用する。

④固定資産税の一部を助成する工場誘致奨励条例に加え、固定資産税の課税を3年間免除する企業等振興支援条例を、3月からスタートさせた。

⑤自助自立までの間、事業活性化のために支援は有効と考える。適宜適切に実施

## 答 防災対策は

志村議員

①地域防災リーダーの育成は。

②行政区の防災体制づくりへの支援は。

③種類や規模、期間、複合的な災害など、多岐にわたる想定と対応が必要となるが、今後の防災訓練は。

④避難行動要支援者は。

## 答 避難所開設訓練を実施

倉嶋市長

①3年間で274人が防災リーダー養成講座を受講。

②28年度、5月から8月までに、39回の防災出前講座を開催した。

③今年度の総合防災訓練は、7カ所の指定避難所で運営委員会を設置、開設訓練や講習会を行う。132の行政区では、安否確認や情報伝達の訓練を実施する。

④支援者台帳の整備、同意確認・登録に努める。

## 問 適正な長期推計は財政運営の土台



日本共産党

渡辺 正秀 議員

渡辺正秀議員 長期推計の作成は財政民主主義と財政運営の土台だと考える私たちの指摘を受け入れ、従来3月に出していた長期シミュレーションを、決算見込がほぼ確定し、普通交付税も確定する6月以降に作成するとの答弁を、27年12月議会会で得た。

平成27年度末と36年度末の基金残高の見込額の変化は。

## 答 9月補正後の数値で推計

倉嶋市長

今回の財政推計は、28年9月補正後の数値を基にしている。29年度から都市計画税を見込んでいる。31年度から消費税が10%なることを見込み、32年度以降地方消費税交付金を段階的に増額してある。その

## 問 支所の充実

渡辺議員

支所の縮小・廃止の弊害が出ている。区長会や市民の間で大きな問題となっている。第1次行政改革大綱の検討の時以来求めてきたが、支所の充実について市長の見解を伺う。

## 答 地域サポートに努める

倉嶋市長

本市では行財政

改革を推進するなかで、合併によるスケールメリットを生かし、業務を効率的・効果的に集約しながら組織のスリム化を進めてきた。限られた行政資源のなかで、地方分権への対応や市民ニーズに応じた新たな行政サービスへの提供を的確に行うには不可欠。

しかしながら、良好な地域づくり推進には、行政区などの役割は重要と認識している。相談・サポート体制の維持は必要と考える。

### 問 都市計画税の廃止は

**渡辺議員** 乱開発を防止する観点で都市計画区域に組み込まれた地域にまで、都市計画税を課税することには道理がない。市民の暮らし、担税能力を無視した都市計画税条例は廃止するしかない。市長の所見を伺う。

### 答 検討中

**倉嶋市長** 合併時に都市計画税条例が制定され、5年間は特例で石和町のみで不

均一課税が行われていた。22年以降は全域課税の予定だったが、東日本大震災、消費税引き上げ、雪害などを考慮し、4度の条例改正で28年度まで課税を猶予していた。昨年12月議会の結果を踏まえ、庁内検討会を重ねており、方向性が出た段階で説明する。

### 問 社会教育施設使用料値上げの見直しは

**渡辺議員** 使用料の値上げ、有料化には批判が殺到している。

①原因は3つ。アンケート調査等を実施しなかったこと。市民活動への評価の欠如。受益者負担原則の無批判的適用。市長の認識を伺う。

②値上げによる利用実績への影響は。  
③使用料値上げ・有料化を見直す考えは。  
④当面、従来並みの使用料に戻すべきではないか。

### 答 適正運営に努める

**倉嶋市長** ①スポーツ推進

審議会や社会教育委員が所属団体の立場を超えて、中立的な観点で審議されたと理解している。市の財政状況と公平性の確保から、施設の維持管理費を受益者負担していただくようにした。料金改定は、合併時の協定項目であり、規模、内容に応じた適正料金を算出した。値上げそのものを目的にしたものではないことを理解いただきたい。

②集計中だが、市内者を優先的に配慮したことで市外者の利用が減少傾向にある。

③3年ごとに見直しを行うことが基本方針だが、利用状況や利用者の意見も聞きながら検討したい。

④今後も利用者の意見を伺い、適正運営に努める。

## 「開かれた議会」を実現します

私も議員一同21名は、11月13日の任期満了に伴い、笛吹市議会議員の職を退任いたします。

笛吹市が誕生し、3期目の議会議員として一体感のある市政の発展と住民福祉の向上など様々な角度からの精査と、具体的施策の実現に向けて問題提起いたしました。

また、議員総意で議会改革に取り組み、その集大成として「議会基本条例」を制定し、議会報告会開催をはじめ、議会活動に関わるより多くの情報発信と市民の意見の把握に努めて参りました。

今後も二元代表制の下、市民を代表する議事機関として、市民の負託に応える開かれた議会を実現し、市民が安心して生活できる豊かなまちづくりのために全力で取り組む決意であります。

結びに、4年間市民の皆様への温かいご支援とご協力に対し衷心より感謝申し上げます。さつと致します。

笛吹市議会議長 大久保俊雄



9月  
定例議会

市民の声

# 一般質問

9月定例議会では、6人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどりました。以下は質問と答弁を要約したものです。



## 一般質問

### 問 災害廃棄物処理計画策定推進は

### 答 行動計画・処理計画を作成する



渡辺清美議員  
(公明党)

**渡辺清美議員** 国は大規模災害に備え、災害廃棄物処理計画の策定を求めている。国・自治体・事業者連携による災害対応力向上を目的に「災害廃棄物処理支援ネットワーク」が発足したが、市の取り組みを伺う。

**雨宮総務部長** 平成27年度改訂「笛吹市地域防災計画」中に、「廃棄物処理計画」を策定しているが、災害廃棄物の仮置き場の確保等の具体的な定めがなく、県と連携し見直しをしたい。災害時の廃棄物処理は大きな課題。実効的な行動計画・処理計画の作成に努める。

### 問 学校の耐震化は

**渡辺議員** 学校耐震化は建物自体を診断・対応してきたが、地盤は行っていない。

- ①断層帯と学校位置関係の安全性は。
- ②地盤沈下する液状化被害は。
- ③学校地盤・建物耐震化の取り組みと長期計画は。

### 答 屋内運動場の耐震化を推進

**野田教育部長** ①地震災害の大きさは、さまざまな要因が影響する。活断層への遠近に関わらず、日ごろから防災意識を高め、耐震化された学校の建物を適正に維持管理していくことが重要と考えている。

②液状化現象は砂がゆるく堆積し、地下水が高い場所で発生する可能性が高く、地盤沈下や構造物の浮き上がり、地盤の側方流動などの被害が想定されるが、校舎や屋内運動場を建築する際に地質調査を行い、建築物を支持する安定地盤を確定し基礎工事を行うため、液状化現象による建物への影響は少ない。

③校舎や屋内運動場の構造体の耐震化は済んでいるため、現在は避難所となる屋内運動場の非構造物の耐震化を進めている。

## 問 石和温泉駅記念日の制定は

答 貴重な意見、参考にする



神澤敏美議員  
(笛新会)

**神澤敏美議員** 2月に石和温泉駅舎竣工式が開催され、南口にエスカレーターやエレベーターの設置、南北自由通路の整備など、市の顔である観光拠点である駅として新たなスタートを切ったが、観光客をはじめ市民の財産ともなる記念日を制定する考えはないか。

**小澤経宮政策部長** 石和温泉駅は1日で5千人を超える乗降客がある。長い歴史を持った駅であり、中央線の開業日や改名された日など考慮し、今後、記念日制定の機運が増した場合は、貴重な意見として参考にしたい。

## 問 鵜飼橋上流の雑木 雑草撤去は

**神澤議員** 減災は非常に重要だが、笛吹川鵜飼橋上流の河川に生い茂る雑木と雑草で、決壊の恐れがある。

① 鵜飼橋上流の河川雑木、雑草撤去

の対応計画は。  
② 上流の甲州市・山梨市と密度の高い連携を図る考えは。

答 広域的に対応する

**河野建設部長** 笛吹川は国直轄管理の河川で、管理者である国は河川内に繁茂する樹木の伐採を行っている。平成27年度は河川内5カ所、約3、100㎡を実施してきた。

① 国では管内の伐採等を行う必要箇所を抽出し、必要性・緊急性の高い箇所に優先順位をつけて実施している。今年度は大野桑戸橋から桑戸橋までの間を実施する計画で、大野桑戸橋下流域の雑木等も引き続き国へ要望していく。

② 河川内の雑木、雑草の撤去の要望等は、笛吹川流域の関係自治体が、それぞれ対応してきた。今後、下流域の安全を守るため、上流域の自治体等との連絡連携を密にし、広域的な対応を進めていきたい。

## 問 学校給食調理は業務委託ではなく直営を

答 安全・安心な体制を作る



亀山和子議員  
(日本共産党)

**亀山和子議員** ① 学校給食法で定める7項目の目標に照らし、業務委託は教育の視点から相容れない。

② 業務委託では食育ができない。  
③ 学校給食に関わる人との検討は。  
④ 業務委託で災害時の対応は。  
⑤ コスト削減できたとして、教育予算全体の何%か、市予算の何%か。  
⑥ 現在の臨時職員は受託先に正規職員として採用されるのか。

**野田教育部長** ① 業務委託の内容は調理と配缶、洗浄、清掃、保管。目標の達成を損なうと考えていない。

② 食育指導は従来より栄養教諭や学校栄養職員が中心となっており、業務委託後も変わることはない。

③ 安全・安心な給食を提供する体制作りは、人事管理方針や財政状況など勘案し、最も適切な方法として業務委託することとした。

④ 災害時の炊き出しは、学校給食調理場を利用する。業務請負業者と災害協定を締結し協力を求めていく。  
⑤ 現状との比較ではコスト削減にならない。  
⑥ 臨時職員の優先採用を委託仕様項目に盛り込み、正規職員を希望する場合は、積極的に要請していく。

## 問 地域包括支援センター の直営を

**亀山議員** 地域包括センターの役割、仕事は地域高齢者の権利擁護や総合相談、介護予防ケアマネジメントなど多岐にわたる。外部委託が良いのか市直営か、見解は。

## 答 メリット・デメリット を検討

**風間保健福祉部長** 外部委託か直営か、メリット・デメリットを検討した。地域包括支援センター運営協議会で協議し、基幹型包括支援センターを直営とし、2カ所の包括支援センターを委託する。

問 読書通帳事業の導入は

答 手書き式読書通帳を実施、  
子どもの読書活動推進計画の策定



川村恵子議員  
(公明党)

川村恵子議員 活字離れや読書力の低下が懸念される。借りた本の履歴を残し読書意欲を高める必要がある。  
① 図書館の貸し出し状況の推移は。  
② 児童・生徒の活字離れ対策は。  
③ 手動式読書通帳導入は。  
④ ICT利用の「読書大好き日本」事業、市の考えは。  
野田教育部長 ①平成23年度6万8千冊、27年度54万6千冊。昨年度はやや持ち直したが、21年度をピークに減少傾向が続いている。  
②毎年4月に小学校新入学児童全員に図書館利用カードの配布、また、市内図書館でイベントやおはなし会等を開催。子どもの本に触れ合うきっかけづくりを行うなど、機会をとらえて活字離れ対策を実践している。  
③手書き式読書通帳は、経費的にも安価で実施可能。市独自の「手書き式

の読書通帳」を実施したい。  
④機器の整備やシステム連携などに多くの経費がかかり、今のところ導入は考えていない。

問 産前産後ケアセンター  
活用と市の援助は

川村議員 ①市内の宿泊利用者は。他市と比較した現状は。  
②市民への周知と広報活動は。  
③日帰りケア事業の補助は。

答 指導・支援は  
細やかにを行う

風間保健福祉部長 ①今年度は7月末までに3泊4日3人が利用し、計5人14泊となっている。県内各市町村の状況は、16市町村から計65人、151泊の利用。  
②ホームページや広報紙で周知、妊婦届出時に子育てガイドブックと合わせてパンフレットを配布。  
③市では指導、支援に結び付けるようきめ細やかに相談支援を行なっている。補助制度の実施予定はない。

問 事業決定、市民意向の反映は

答 計画策定段階で市民が参画



野澤今朝幸議員  
(笛新会)

野澤今朝幸議員 ①行政府が行う主要事業の決定は、主権者の意向を反映することが必要不可欠な条件だ。  
合併後の市政はどうであったか。事業決定したもの、事業途上を含め、「新庁舎建設整備、アリーナ建設整備、N T T用地取得、ゴミ袋有料化、社会スポーツ施設使用料改正、公共施設再配置整備、都市計画税条例改正」などそれぞれの市民意向はどのように扱われたのか。

この検証の中から、主要事業の決定に市民意向を反映させるための制度設計のヒントを得たい。

小澤経営政策部長 市政を進める立場にある首長と議会は、主権者の意向を反映することは重要な要件であり、同時に議会の理解を求める中で事業を進めることは、市民の理解につながることを認識している。また、市民協

働を進める上では、計画策定等の過程で市民に参画してもらうことも大切と考えている。

新庁舎建設整備は、市民に重要な事柄だったが、議会内での議論にとどまり、結果、笛吹川右岸への建設調査費等議案が否決となり、市民の意見をいただくまでに至らなかった。

アリーナ建設整備は、建設反対の民意が大きく、市長選挙等により民意による建設中止が決定された。

N T T用地取得は、概ね賛成とのご意見をいただいたと考えている。

ごみ袋有料化の導入は、答申内容を基に議会・区長会・環境指導員、地区の説明会を開催し、ご理解いただいた。

社会スポーツ施設使用料改正は、スポーツ推進審議会、社会教育委員の会議で審議。委員が所属団体の立場から審議していると理解。

都市計画税は、4度の条例改正により平成28年度まで課税が猶予されている。現在、昨年の12月議会の都市計画税条例一部改正の結果を踏まえ、庁内検討会を重ねている。

## 問 大型事業、市政の取り組みは

### 答 市民メリットを最優先



荻野謙一議員  
(笛新会)

**荻野謙一議員** ①石和温泉駅舎の建て替えを含む駅前開発事業の事業費、乗降者数と南北自由通路の見込みは。

②駅北口信号機設置に伴う問題点は。③駅南口トイレ位置や有料ワインサーバーに関する考えは。

④駅舎の市民メリットと経済効果は。⑤砂原橋架け替え建設の総事業費と財源内訳、通行車両数の調査は。

**河野建設部長** ①総事業費は39億5千万円。駅舎の建て替え工事費が約23億円。南北自由通路工事費は10億8千万円。一日平均で北口側350回、南口側651回と効果が出ている。

②信号機の設置要望を受け、公安委員会が判断し信号機を設置した。③公共トイレの清潔感や利便性の高さは、利用者目線で行き方、サインタクシーの問合せも増え、観光客に

好評をいただいている。④経済発展に繋がりに、ぎわいを生み出し、市民にメリットとなる。⑤総事業費は約40億円。国庫補助金や合併特例債と一般財源。1月から新砂原橋の仮供用を開始。通行車両の調査は行っていない。

### 問 市民目線の市政運営は

**荻野議員** ①リニアの見える丘公園事業の目的、財源内訳や利用者数は。②来年度からの都市計画税課税を再延期する考えは。課税対象範囲の変更は。

**雨宮総務部長** ①ビューポイントに観光客誘致を目的に展望台等を整備した。総事業費は約2億3千万円。利用者数の把握はしていないが、他自治体からの視察もある。

②都市計画税の課税引き延ばしは、市政運営に支障を来たので、条例の規定に沿って準備を進めている。

9月9日から15日までの7日間、ドイツ・バートメルゲンツハイム市へ市民公募を含む14人での交流・視察団に参加した。同市とは平成3年、旧石和町と友好交流約定書に調印以来、25年にわたり訪問15回、来訪15回、延べ589人が直接交流している。今回の目的は同市において開催されている「愛郷デー2016」のハイライトのひとつである、州祝祭デーのパレードへ参加（着物・ゆかたを着用し、踊りを披露）することにより、同市および参加都市との市民レベルによる交流の促進を図り、当地および周辺地域における温泉療養や地域産業振興、地方自治のあり方などの先進的な取り組みを修得することが目的である。

### 視察

## ドイツ国際交流視察事業に参加して

9月9日から15日までの7日間、ドイツ・バートメルゲンツハイム市へ市民公募を含む14人での交流・視察団に参加した。

同市とは平成3年、旧石和町と友好交流約定書に調印以来、25年にわたり訪問15回、来訪15回、延べ589人が直接交流している。

今回の目的は同市において開催されている「愛郷デー2016」のハイライトのひとつである、州祝祭デーのパレードへ参加（着物・ゆかたを着用し、踊りを披露）することにより、同市および参加都市との市民レベルによる交流の促進を図り、当地および周辺地域における温泉療養や地域産業振興、地方自治のあり方などの先進的な取り組みを修得することが目的である。



市長を選出しており日本の二元代表制とは違う地方自治法のメリット、デメリットも情報交換できた。さらに、歴史を融合させた観光施策も、ロマンチック街道沿いの、ヴェルツブルクからフュッセンまで約500kmにわたって標識の統一、城や教会、情緒豊かで変化に富んだ自然地帯、絵のように美しい町並み保存、各地域独特の歴史や文化財は目を見張るものがあり、広域的観点からの今後の観光施策の重要性も痛感した。今後も国際交流事業が指すもの、費用対効果、市民の意見等を踏まえ、本事業の発展を望むものである。

笛吹市議会議員 大久保俊雄

# 香港フェアで トップセールス

議会を代表し議長、建設経済常任委員会の正副委員長および市長、農林振興課職員、観光商工課職員、JA笛吹関係職員らで、香港において「笛吹フェア！市産果実消費拡大宣伝」のトップセールスを行った。



今年度は、桃とブドウを「香港フードEXPO2016」に出店し、現地にお住まいの方や仲買人の方に試食や販売をしたところ、販売ブースでは日本の果実は大変人気があり、大行列のお客の入り、商談ブースでは毎日数社から取り引きについて問い合わせがあり、帰国後には契約の具体的な話をしているとJAからも報告を受けている。

また、百貨店やスーパーマーケットの店頭で試食や販売をしたところ、購入者の多くが複数の果実を購入していた。

このように、香港は果実を食べる文化が根付いており、購買意欲も旺盛な魅力ある市場であると実感した。

建設経済常任委員会副委員長 保坂利定

## 山梨県市議会議長会 議員合同研修会 前期

平成28年度議員合同研修会(前期)が8月10日(水)にアピオ甲府(昭和町)で行われました。県内市議会議員及び事務局職員が参加し、同志社大学大学院教授 新川 達郎 先生を講師に迎え、『議会・議員の役割と今後の活性化に向けて』と題して講演を受けました。

## 9月議会・会期日程

8月24日(水) 議会運営委員会  
全員協議会

8月31日(水) 開会

●本会議

●会議録署名議員の指名

●会期の決定

●市長行政報告

●提出議案の説明

●決算審査報告

●大綱質疑・付託

9月1日(木) 代表質問

9月2日(金) 一般質問

9月6日(火) 21日(水)

●各常任委員会 付託事件審査

9月28日(水) 議会運営委員会、

全員協議会

●本会議

●各委員会の審査報告

●質疑・討論・採決

●各常任委員会

閉会

## 議会日誌 GIKAI diary

### 6月 June

- 2日 議会運営委員会・全員協議会
- 3日 甲斐いちのみや大文字焼き実行委員会
- 5日 わんぱく相撲全国大会
- 9日 本会議・議会広報編集委員会
- 10日 本会議・一般質問
- 13日 本会議・一般質問
- 15日 各常任委員会・境川ごみ処理関連施設視察
- 17日 各常任委員会
- 20日 議会改革委員会
- 23日 笛吹市体育協会総会
- 24日 議会運営委員会・全員協議会・本会議(最終日)
- 27日 笛吹市果実等消費拡大宣伝(東京大田市場他)
- 29日 議会広報編集委員会

### 7月 July

- 1日 社会を明るくする運動推進大会
- 2日 NPO法人ゆうゆうゆう設立10周年記念パーティー
- 8日 議会広報編集委員会
- 11日 甲府峡東ごみ処理組合議会・全員協議会・本会議
- 15日 東山梨行政事務組合議会・全員協議会・本会議

- 20日 恵那市リニア特別委員会行政視察受入れ・笛吹川石和鶉飼開き
- 21日 渋川改修促進期成同盟会総会
- 22日 桃の里マラソン大会実行委員会
- 25日 山梨県高速道路整備促進期成同盟会総会
- 26日 全員協議会
- 27日 上野原市議会文教厚生常任委員会行政視察受入れ
- 28日 東八代広域行政事務組合議会・全員協議会・本会議
- 29日 山梨県消防団員操法大会激励式

### 8月 August

- 3日 川口市公明党議員行政視察受入れ
- 6日 笛吹市子どもクラブ親善球技大会
- 10日 山梨県市議会議長会議員合同研修会
- 10~13日 香港トップセールス
- 16日 甲斐いちのみや大文字焼き
- 17日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会
- 24日 議会運営委員会・全員協議会
- 25日 民生委員推薦会・山梨グルメフェア
- 26日 金川沿岸を守る会定期総会・シャインマスカット品評会
- 30日 峡東地域広域水道企業団議会
- 31日 定例会本会議(開会)・議会広報編集委員会

# 委員会 レポート

## 総務 常任委員会

**Q** 行政区の防災無線に対する補助金は適正か。  
**A** 今後の課題として検討していく。

### 【意見書提出】

一般会計補正予算（第2号）で「入札監視委員会」の設置に伴う報酬10万円の増額に関連し、委員会とその委員の独立性に疑義が出され、委員会から執行当局に「意見書」を提出することとした。

### 〈消防本部所管〉

**Q** 車庫のシャッター修繕だけで80万円もかかるのか。  
**A** 受注生産のシャッターなので、これだけの経費が必要である。

### 〈経営政策部所管〉

**Q** 「笛吹市移住定住お試し住宅条例の制定」で、移住定住先は芦川町に限定されるのか。  
**A** 芦川町に所在するが、実際に移住定住する場合、芦川町に限るものではなく、当人の希望による。

**Q** 旅行気分で使ったり、仕事意欲のない者の宿泊や、居すわられたりはしないか。  
**A** 旅行気分で使ったり、仕事意欲のない者の宿泊や、降、区ごとの割り当て方の参考にしていく。



移住定住相談会

**A** 面接段階でしっかり見極めるようにし、委員の提案を受け、芦川町まちづくり委員会との交流も視野に入れ、そのようなことがないようにしていく。

### 〈市民環境部所管〉

**Q** 行政区管理の防災灯のLED化は、今後どのように整備していくのか。  
**A** 全体で7、500基ある防災灯を、年1、300基ずつ6年間でLED化の目標達成を考えている。

**A** 今回、各行政区で防犯灯の数を調査し、来年度以降、区ごとの割り当て方の参考にしていく。

### 【歳入歳出決算認定】 〈総務部所管〉

**Q** 不納欠損額が2億5千万円と多いが、1番多い欠損金はいくらか。  
**A** 1億1千万円の固定資産税の欠損金である。

**Q** 大きな額となった不納欠損金の処理は、適切に行われた結果であるか。  
**A** 破産者にも交付要求等の滞納処分を行い、配当を受ける等できる限り処理をし、回収できない市税等は執行停止処分としているが、今回、多額の欠損金を計上することになった。

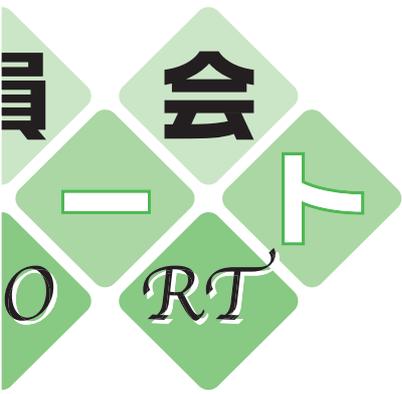
**Q** 消防団の備品購入費執行率が99%と高い原因は。  
**A** 補正で残額を減額した結果で、当初予算に対する執行率ではない。

**Q** 公共施設総合管理計画策定事業1、200万円の執行率が0%だが理由は。  
**A** 上水・下水・道路などのインフラのデータ収集も、公共施設全体を把握する上で必要。収集に時間を要し、計画の策定をする段階に至らなかった。

**Q** 入札監視委員会委員の人数は何人か。  
**A** 3〜5人だが、今回の就任は3人と考えている。  
**Q** 「暴力団立ち入り禁止」標章登録100軒は、少ないのではないか。  
**A** 11月中旬以降、暴力追放運動の大会を開き、ローラー作戦などで標章登録件数を増やしていきたい。

**Q** 行政区管理の防災灯のLED化は、今後どのように整備していくのか。  
**A** 全体で7、500基ある防災灯を、年1、300基ずつ6年間でLED化の目標達成を考えている。

**Q** 公共施設総合管理計画策定事業1、200万円の執行率が0%だが理由は。  
**A** 上水・下水・道路などのインフラのデータ収集も、公共施設全体を把握する上で必要。収集に時間を要し、計画の策定をする段階に至らなかった。



**Q** 電子市役所構築事業3、760万円の執行率99・9%だが、落札率が分からないのでは。

**A** 財源をその都度確保し、不用額減額の専決は行わない方針を徹底している。

**Q** ふるさと納税事業は、収入1億円で支出が6千万円だ。本来の税から逸脱しており、全国市長会などを通し廃止運動すべきだ。

**A** 産業振興や財源確保に寄与しており、廃止すべきとは考えていない。

**＜消防本部所管＞**

**Q** 高規格救急車1台3、071万円の落札率が、99・9%と高いのはなぜか。

**A** 契約差金を減額補正し、予算と支出が同じで、高落札率となっている。

**Q** 救急救命士の資格取得に多額の公費を支出してい

る。退職後も資格を生かす必要があるのではないかと。総務部人事給与担当と再任用を話し合う。

**＜市民環境部所管＞**

**Q** 花と緑のまちづくり推進事業委託料の執行率が3%と低い理由は。

**A** 事業実施は国・県と協議し、規制や条件があり、事業がはかどらなかつた。

**Q** 防犯灯の電気料公費負担204万円は、旧町村別の基数に差があるのは問題だ。

**A** 合併当時よりの課題。今回LEDの基本調査をし、基準を設けて是正する。



9月6、8、16、20、21

日の6日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1

件、特別会計補正予算4件、歳入歳出決算認定1件、特別会計歳入歳出決算認定4

件の計11件を審査し、賛成全員9件、賛成多数2件でいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

**＜保健福祉部所管＞**

**Q** ふれあいの家を建築したのは何年か、耐震工事はしてあるか、調査結果で補強になる可能性はあるか。

**A** 昭和39年建築。旧石和保健所を県より譲り受け、6年前に事務所入口の壁を補強、2階屋根は未改修。調査結果で改修の可能性ある。

**Q** 子どものB型肝炎予防接種委託料の増額は何か。

**A** 平成28年10月より定期接種化。生後2カ月から1歳までに3回接種。

**＜市民環境部所管＞**

**Q** 上寺尾コミュニティセンター建設工事の詳しい説明を。

**A** 生産物の出荷時期と重なり、設計が遅れている。今月中には建築確認を出せるようにしたい。

**Q** 生活習慣病重症化予防戦略研究事業は、国の補助金がなくなる。市単独で継

続するのか。

**A** 規模は縮小されるが、効果の見込まれる事業であり市単独で行っていく。

**＜教育委員会所管＞**

**Q** 小学校施設修繕料と補正額の内訳は。

**A** 石和東小学校プール改修、八代小学校キュービクル改修、御坂小学校更衣室の改修で270万円、日々の修繕に430万円を想定。

**Q** 成人式は今年度からいちのみや桃の里スポーツ公園総合体育館で実施だが、周辺の混雑に対する対策は。

**A** 合併後12年が経過、市の一体感を出すため、収容人数を考え体育館で実施可能と判断。各地区実行委員と話し合い理解を得た。

**〔歳入歳出決算認定〕**

**＜保健福祉部所管＞**

**Q** 民生委員・児童委員運営事務で、市と7地区の民児協補助金の配分は。

**A** 市協議会に15万円、地区割として芦川に14万円、その他6地区に28万円を均等配分。人頭割として委員1人当たり5千円配分。

生活保護費支給事業の扶助費が減った要因は。

**A** 医療費の影響が大きい。高齢や障がい者世帯に、重複受診防止指導やジェネリック薬品の使用も影響。

**Q** 成人健康教育と成人相談・訪問事業の詳細説明を。

**A** 7講座で19回実施、実人員99人、延べ190人参加。健康アップ運動教室はトレーニング・ストレッチ・ジムがあり、ほかに健康アップ栄養教室、糖尿病予防教室、禁煙教室がある。

**＜市民環境部所管＞**

**Q** クリーンセンター運営事業で、施設の老朽化が進み大規模修繕も必要では。

**A** 平成21年度に大型修繕、こまめにメンテナンスすれば10年間は大丈夫。

**Q** 後期高齢者医療保険料未納のケースは。

**A** 生活のために土地など売った場合、翌年度に保険料が上がり、払えなくなる人もいる。

**＜教育委員会所管＞**

**Q** 屋内運動場天井改修工事が行われているが、これで終わるか。



**A** 照明やバスケットゴール耐震化、ガラス飛散防止改修を31年度までに全部の学校で実施したい。

**Q** 旅費の執行率が低い。研修会参加など心がけるべきだ。

**A** 前年度実績で予算を見積もる。学校現場の都合上、参加できない状況もある。今後心がけて取り組む。

**Q** 公共施設の再配置等を考え、施設の統合などしたらどうか。

**A** 地域と連携を図り検討していきたい。

**Q** 釈迦堂遺跡博物館組合負担金1、200万円の内訳は。

**A** 屋根の修理負担金が200万円、残りが通常の負担金。

**【継続審査】**

「保険でより良い歯科医

療の実現を求める意見書の提出を求める請願書は、1年間の継続審査となったため、先例により審議未了となった。



9月6、7、16、20、21

日の5日間、委員会を開催。付託された条例の制定1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、事業会計補正予算3件、一般会計歳入歳出決算認定1件、特別会計歳入歳出決算認定3件、事業会計決算認定2件、保護財産区特別会計補正予算9件、保護財産区特別会計決算認定9件の計31件を審査し、賛成全員で可決16件、賛成全員で認定14件、賛成多数で認定1件で、原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

**〈産業観光部所管〉**

**Q** 鳥獣害防止対策強化事業に伴い、被害調査と対策をどのように考えているか。

**A** 市と農協が共同で状況把握を行い対応。今年から鳥獣被害対策実施隊を設置し、より迅速に対応できるように対策強化を図っている。

**Q** 地域農業振興事業の水感庫整備補助金の内容は。

**A** 一宮第2共選所の保冷库内に、高品質を維持し長期保存が可能な水感庫設置を計画。保冷库全体で27トの水感庫として最大15トの貯蔵が可能で、今年度はシャインマスカットを中心に5ト貯蔵。長期保存・品質保持を行う予定。

**〈建設部所管〉**

**Q** スマートIC（インターチェンジ）周辺道路整備事業の工事請負費2、800万円の減額に伴い、供用開始が遅れるのか。

**A** 周辺整備事業の一部である中央道側道1・32号線工事が遅れているが、スマートIC本体は来年3月末に供用開始予定。

**〈公営企業部所管〉**

**Q** 水道水質検査の内容と簡易水道・地区水道の予算が不足になった原因は。

**A** 検査項目は上水51項目・原水39項目などで、検査箇所数は上水が29、簡水が12、小規模が4カ所。検査業務は入札で業者決定し、昨年度に比べ入札率が非常に高くなったことが予算不足の原因。

**【歳入歳出決算認定】**

**〈農業委員会所管〉**

**Q** 市内の耕作放棄地の状況は。

**A** 面積は232畝、境川町に多い。農業委員が仲介し斡旋したり、地域提案型遊休農地活用事業制度の活用で農地が還元されるなど、昨年度に比べ減っている。

**〈産業観光部所管〉**

**Q** 地産地消推進事業4カ所の直売所運営状況は。

**A** 八代グリーンファームは、27年度売上高が1億7、900万円で過去最高、利用人数は9万1千人。境川農産物直売所は1億100万円、利用人数9万

2千人。春日居農産物直売所は7、100万円、利用人数2万9千人。芦川農産物直売所は6千万円で、利用人数6万1千人。

**〈建設部所管〉**

**Q** 公営住宅の入居状況は。

**A** 入居可能19戸に対し、13世帯が入居、68・4%。定住促進住宅は60戸に対し、47世帯が入居、率は78・3%。公営住宅は、251戸に対し、237世帯、率は94・4%。申込待機人数は市内全体で40人程度。

**Q** 都市計画道路見直し事業の業務委託内容は。

**A** 計画は石和町時代に作成、現在とは生活圈、交通量などが違う。現状を把握し、将来的な人口減少・高齢化・まちづくりプランと整合させ、県や関係機関と協議を進め、庁内検討で素案作成を進める。

**〈公営企業部所管〉**

**Q** 漏水調査の状況は。

**A** 配水状況を見て調査。機械で配水管の音調を特定。古い管が多く漏水の発生が予想される。しっかり計画し漏水対策を進める。



## 「主婦目線」で思うことは



石和町今井 由子

「食の安全・安心」という言葉を目にしない日はなくらいです。私たちは毎日必ず食事をしますが、その食事は本当に「安全・安心」なのでしょうか。

こどものアレルギーが気になり、食材や食品添加物をチェックして生活している人も多いでしょう。私も娘のアトピーで、悩んだ時期もありました。すべてを自分の手で手作りできたら、それが一番「安全・安心」なのかもしれません。が、忙しく過ごす今の世の中では、現実的に難しいです。

山梨県には「甲州味噌」という食文化があります。戦国時代を生き抜いた名將は、必ず味噌文化の栄えた地域であり、味噌を大切にしていたそうです。また、一日一杯の味噌汁で痩せたという友人もいます（あくまでも個人の意見ですが）。「味噌は作るもの」といった時代なら、「安全・安心」の最たる食品でした。先人の知恵である地域の食文化を誇りに思い、ファンとして楽しみたいと思います。

「私たちのからだは、食べたものでできている」。未来を担うこともたちには、「食」を大切にしたい。そんな世の中をつくることは私たち大人の責任です。「お味噌の仕込み会」や「梅干し作り」など、こどもたちに体験できる場を提供していきたいと思えます。

## 12月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しております。参考にご覧ください。

### 平成28年 第4回定例会本会議の日程（予定）

- 12月 7日（水） 午後1時30分～ 本会議（初日）市長行政報告・議案説明・質疑・付託
- 8日（木） 午前10時～ 一般質問
- 9日（金） 午前10時～ 一般質問予備日
- 19日（月） 午後2時30分～ 本会議（最終日）委員会審査報告・質疑・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。  
傍聴席へは先着順となります。（傍聴人定員42名）

NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。  
放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

早いもので、議員の任期もあつという間に過ぎ去り、次号からは新しい編集委員会を中心に「笛吹市議会だより」が発行されます。

市民の方にいかに読みやすく、分かりやすい広報にしたいか、大いに悩みながら編集作業に腐心してまいりました。紙面構成はいくつかのレイアウトも刷新し、良き所は踏襲しながら、編集委員一同、一生懸命に作業に没頭したつもりです。

議会改革と同様、議会だよりの変革も目指し、新編集委員会にも期待して、委員長としての筆を置きたいと思えます。議会広報編集委員会委員長 荻野 謙一

### 表紙説明

題字は大久保俊雄議長

## 笛吹高校生徒による ワイン仕込み

今年のブドウは収穫期に乾燥した天気が続いたので、味も上々！

（撮影地：山梨県立笛吹高校）